



シャープ社友会広島支部
会報 ひびき 第13号

発行人 山田 順

1面 春夏秋冬
2面 秋の親睦旅行ア・ラ・カ・ル・ト
3面 “通信” 事始物語
4・5面 HOW DO YOU DO
6面 遠隔地会員は今
7面 会社との懇談会
8面 社友短信・服部正夫さん逝く

主要記事

春 夏
秋 冬

一度きりの道に向かつて

社友会広島支部長 山田 順



新年明けましておめでとようございます

皆様には益々ご健勝のことと存じます。

昨年は、金融不安、景気の低迷、世相不穏と混沌とした年でした。

今年は、二十世紀最後の年ですが、少しでも良き事の多かれと願っております。

今、私たちの歩んでいる道は人生一度きりの尊い道です。

悠久の歴史の中の、ほんの僅かな年月ですが大切な道です。できれば、有意義に悔いがない道でありたいものです。

私は、退職時に開いていただいた送別会の席上で「これからは、余生でなく与生を送ります」と、申しました。

以来、少しでも地域社会のため、社友会のため、お役に立てればと思つて今日まで参りました。

「余生」というには、あまりに長い高齢期です。この期間をどのように過ごすかは、だれもが直面する問題でもあります。

心理学者の 南 博さんは、「好奇心を失つた時に老いが始まる」と語っています。

自分の周りの世界は、毎日変化しています。その変化に関心を持つことも好奇心だと思えます。

昨年暮れ、広島市内で暴走族騒動がありました。そのうちの何人かを、地域のおぼさん達がボランティアで、料理教室に招きました。みんな、素直に楽しみ喜んでいたそうです。個人では、みんな良い子なのです。

今の若い者は、などとひとくくりにして結論づけず、なぜ・なぜ・なぜ、と考え方や行動を、考えてみるのも好奇心です。

枯淡の境地には程遠く、世の中に浮遊していますし、さりとて円満な老後を望むにはいささか、不満の多い近頃の世情ではありません。

老人と意識するものも、もつとラジカルに生きたいものです。人生一度きりの道なのですから。

社友会章ができました

- ネジ式とピン式（女性用）の2種類
- 『社友』の文字は金色 社員章とほぼ同一デザイン

本部会報第56号（10月28日）ご参照



- 幹旋価格 650円
- 受付 細井幹事 随時受付
- 右記「新年会」でも紹介・受付します

出欠の連絡はお済ですか
変更など追加連絡は1月13日（金）までに

ビンゴゲームで初占い

社友会
紅葉会
新年会

二十一日（金）午後六時
於 西条グランドホテル

0824(26)0721

新企画でミネアムを演出
宴会を超えて新年を祝います

秋の一泊 秘境の旅ア・ラ・カ・ル・ト

大歩危とかずら橋 うだつの街並みに 旅情を満喫

祖谷の山々や、切り立った深い谷は、雲に隠れまた姿を現し、まるで墨絵のようでした。
秋の親睦旅行は、香川県から徳島県に入る頃に雨になり、翌朝まで小雨が降ったり止んだり空模様で、神秘的な風情や過酷な自然をうかがわせる要素にもなりました。
参加した皆さんが感じた、その一部を紹介します。

いちばんの印象は、かずら橋を渡ったこと。この年でワクワク・ドキドキ。楽しかったですよ。

四国には4回も来ているのに、今回の行程は、すべて初めて。

念願のかずら橋に誘ってもらい感謝しています。
脇町の町並みは、かずら橋の重要な伝統的建造物保存地区の、いづれとも違った雰囲気でした。



ゆ～らり・ゆらり。足がすくんで動かない。橋の上では皆がおなじで、だからよけいに、またゆ～らり。

脇町の町並みは、もう一度ゆっくり落ちついて、歩いてみたい。できれば、今度は家族と一緒に。

主人も、ぜひ行ってみたいといっていたところに、私一人が先に行ってしまった。

はじめて見たかずら橋は、怖かったのですが、渡るときはこわさと、楽しさが一度に來たみたいでした。でも最後までがんばりましたよ。

家に、一人のボケた人を残して参加しました。楽しく印象の強い旅行でしたが、気持ちにはやはり、片隅に心配を残した旅でした。

バスガイドさんも、なかなか饒舌で、しゃべりのプロとはいいながら広島弁を織り交せて、楽しませてくれました。

- データ
- ・ 旅程提案 株式会社日本旅行
 - ・ 添乗員同行 社友会広島支部企画幹事
 - ・ 旅行企画 十一月十一日～一泊二日
 - ・ 旅程 古今の名橋を訪ねる
 - ・ テーマ しまなみ海道・来島大橋眺望
タオル工場見学・大歩危川下り
祖谷のかずら橋・脇町のうだつ
屋島・瀬戸中央自動車道
サンリバー大歩危
来島海族館
れいがん茶屋
芸陽バス株式会社
 - ・ 観光バス
 - ・ 宿泊
 - ・ 昼食



来島海峡サービスエリアで。参加者全員40名集合。(愛媛県今治市)

昭和五十七年の春。新年度がスタートしたばかりのある日、宮田事業部長（取締役オーディオ事業部長）本文中では宮田さんと呼ばせていただきます。に「杉山君、ちよつと話が」と声をかけられました。オーディオ機器事業部の、開発技術部長を拜命していた私は、「なにかあるな」と感じましたが、十九年六月に及ぶオーディオとの関わりから離れ、まったく未知の分野に浸ることになるとは思いもありませんでした。

“通信”事始物語

杉山 健さん

(No. 1133)

第1回 緊プロのスタート

宮田さんが、やや激しい口調で切り出しました。「残念だが、オーディオ商品だけでは今の事業規模を飛躍的に伸ばすことは難しい。何かもう一つ柱を作らなければ、事業を存続できない。」

普段、見せたことのない宮田さんの顔つきと、話し方はいろいろと考え抜いた挙句の、指示であることがひしひしと感じられました。

私としては、オーディオ商品に未練があり、オーディオから頭を切り替えるのは、容易ではありませんでした。

ああでもない、こうでもない、2ヶ月に及ぶ方向付けの検討は、「情報通信の分野が、次の事業の柱になりうるのではないか」の結論に至り、商品開発のターゲットは、「事務機関連」に絞られてきました。

この時期には、緊急開発プロジェクト（緊プロ）制度が発足していました。

宮田さんは、「緊プロをスタートさせるるために必要な技術者を5〜6名人選し大至急に緊プロの申請書を作ってくれ。」と、宮田さんの脳裏には次に打つべき手が準備されているようでした。

そして、この年七月、『A173プロジェクト』がスタートしましたが、この3ヶ月の間の経験は、きわめて貴重なものとなりました。

緊プロの申請には、具体的な取組テーマ・挑戦的な開発課題・売上、利益計画・償還計画などを記載します。激しい審査が待っています。



開発リソース面での全社の支援や経費面では本社予算の先行投資を受けるに相応しさが必要です。

今から思えば、いささか大きめに、かなりの風呂敷を広げたものと、冷や汗の出る思いがします。

この時の、宮田さんのアドバイスは「時には芝居も必要だ。シナリオと演出次第では、八本松座の田舎芝居でもお客さんが来てくれる。」というもので、ない知恵を絞り、シナリオの充実と説得力の付加に集中した時間を、懐かしく思います。

緊プロの、第1段階のテーマは『超小型ダイクティングマシンの開発』としチームは、機構設計に斎藤君と森本君。

回路設計には、富田君と長谷川君、それにメカ設計の小池君と浜本君にチームの私を加え、総員七名でのスタートでした。テーマ選定の理由は、情報通信の市場に参入する準備段階として、「オーディオの技術を使って、業務用機器作りのセンスやノウハウを習得するため」としました。

当時、米国の事務機販売の大手であったレニア社に、カセットテープを使ったダイクティングマシンをOEM供給していましたが、売上規模は単位となっていませんでした。

民生機器の感覚でつくられた商品は、業務用としては機能や性能に不十分どころがあり、実使用面からも小型軽量化や耐久性の向上が求められていました。市場では、オリンパス社のマイクロカセットを使った

商品が、小型軽量化で評価はされていましたが、業務用としての使用頻度や耐久性に届かず、クレームが発生していました。

その頃、シャープの『緊プロ』は良い商品、すなわち画期的商品の創出というイメージができ、対外的認知度も高まってきており、これが追い風になりました。

レニア社へのオフアーは成功し、納入先確定のもとで、本格的な商品設計に着手しました。

精密技術研究所の内藤技監（故人）には、初めて取組んだマイクロカセットの設計にあたり、精密メカ設計のご指導を受けました。勿論、小池君以下の緊プロメンバーが小型・軽量化設計で大いに頑張りしてくれました。

生産は、設計段階で人的応援を受けたオーディオ機器事業部で担当し、昭和五八年出荷まで漕ぎつけたのでした。いざ商品を市場に出してみると、信頼性の確保に、万全の条件を付したつもりでも、色々なことが発生するものです。



マイクのダンパーゴムから発生する硫化ガスで、スイッチの接点が悪化され接触不良となり、多くの商品のリワークを余儀なくされました。また、小型・高集積化を目的に採用した、セラミック基板が落下衝撃で破損するクレームも発生し、反省すべき事項も多々ありました。

レニア社からは、性能面でも大変厳しいスペックを要求されました。特にレニア社東京駐在のフレミングさん（故人）からは、事務機の市場が要求する性能・品質のレベルを、イヤというほどたたきこまれました。

独り善がりな排し、段階的にせよユーザーの要求に応え続けた結果が、後日の通信機器の設計に反映・蓄積されていたと思います。（以下次号）

釣り同好会 例会

いつも大漁だったら 値打ちが下がる

ハゲめし食べて
ハゲ釣って
家に帰ってハゲ食べて

同好会として公式には、本年3回目の釣行は12月5日、倉橋町重生から出港。

狙いは「めばる」。前夜、船頭さんからの電話で、釣餌を別に準備して来るように連絡があり、なにやら不吉な予感がしていた。

天気予報は、午前中の降水確率40%、出港間際には小雨もばらつき、全員乗船前に雨具を着込んで、夜明け前の暗い海上に乗り出した。

ポイントに着いた。船頭さんによれば、

昨日ここで「ハゲ」がよく釣れた。「たま」を使わないと逃がしてしまうぞ、一尺を超える大物だ。

ほんまかいな。

ポイントは、水深50Mから一挙に30Mに駆け上がる、がけのようなところで、おたおたしていると、100%の根掛かりした。

潮が速くなって、三〇号の錘が浮いて流れる。こりや、釣りにならんわい、と場所を変え、ポイントを



左 しめる！



変えた。入れて！。上げて！。

潮のせいかな、腕のせいかな。

そんな思いの時に、船頭の「めしにしようや」の声。

ハゲめし。あとは、たくわんと、お茶。それでも、全員がおかわりして3杯は食べたか。

本命の、「めばる&ほご」はちよいと見かけたくらいで残念でした。

午後一時納竿。

獲物を如何に、美味を保証する状態を維持して、帰宅するか。課題は多いものの、研究は持続されなければならない。

全員「はげ」数匹を土産に帰宅。鍋と刺身で夕食は、美味でしたよ。

はげ・かわはぎ

ふぐ目の海魚。体は頗る高く、甚だしく側扁、吻は突出。歯は強大で門歯状。第一背鰭は鋭い棘をもつ。皮は厚い。美味。「広辞苑」より抜粋。

釣り同好会リーダー変更のお知らせ

新田 保さん

⇒

故 辻村 務さん

潮の香りいっぱい
の海岸周回ウォーク

佐木島 瀬戸の潮香満喫

佐木島は、ご存知健保の保養所のある島。十一月の例会はこの島の、海岸周回ウォークと甘藷掘りとも合わせて実施。終日海原を渡って風も心地よく、快適なウォーキング日和で一部は海岸周回を、大半は半周のウォークを楽しみました。島の南端地区には、別荘地らしい開発もあり、ウッドハウス風の様式や、目新しい住宅が目につきました。



因島や生口島と違って、島は本土と陸続きでなくのんびりとした雰囲気もあり穏やかな島の風情や、瀬戸の潮の香りを楽しみ、かつ満喫したウォーキングでした。昨年予定外のイモ掘りを体験し、今回は予定の一環でお土産をどっさり、袋にいれまし



好悪の両コンディション

山陰2ラウンドツアー

天国と地獄と

◆ 10月度(第25回)コンペ参加十二名
◇ 第1日 米子ゴルフ場
潮風と青松に囲まれた、海浜林間コース。
好天に恵まれ、ドライブ移動の疲れをもとせず、楽しくプレイ。日吉津温泉泊

◇ 第2日 朝日ゴルフクラブ大山コース。
前日と様変わり、雨と霧。本来なら、大山を背に美保湾をのぞむ絶景コースが最悪コンディション。前日より一変するのもツアーの面白さといふべきか。

順位	参加者	+par	NET	I	II
1	小林	8	152	73	79
2	嵐	9	153	78	75
3	杉山	9	153	71	82
4	片山	9	153	62	91
5	相馬	11	155	70	85
6	大和	14	158	69	89
7	山本	15	159	73	86
8	山内	16	160	76	84
9	出口	19	163	76	87
10	徳永	21	165	84	81
11	佐々木	39	183	88	95
12	片桐	40	184	81	103

2日間の戦跡
(スコアはNET)

第10回記念 新春ボーリング大会

とき 1月22日(土) 午前10時スタート
 ところ 賀茂ボール
 競技 ハンディキャップ方式
 同好会リーダーが、参加者のレベルを類推しハンディキャップを設定。当日発表
 ゲーム 2ゲーム(2ゲーム得点合計で順位決定)
 表彰 優勝者にはトロフィー(持ち回り)、及び全員に順位賞。
 費用 2000円 当日集金
 参加者 資格制限なし。ご家族友人・知人もOK
 お願い 新春初ラッキー「あみだくじ」でお年玉景品を募集します。当日会場へご持参ください。

◇ 米子ゴルフ場
18Hole PAR72 Back 6,420yard
Regular 6,110yard

◇ 朝日ゴルフクラブ大山コース。
18Hole PAR72 Back 7,032yard
Regular 6,617yard

遠隔地会員は今

片桐 縣二さん

(No.501)

私も、広島を離れてから、早くも七年が過ぎました。もともと、意識としては遠隔地であると思っていませんが、二百軒近く離れていると、やっぱり遠隔地なんですよ。

伯耆富士「大山」の望める港町の、家庭菜園のような畑で季節ごとの野菜を、幼馴染に教えてもらいながら、収穫を楽しんでいます。

今年は、胡瓜や茄子のできが良く、秋野菜もほどほどに食卓をにぎわしてくれました。

まもなく、雪の季節となり朝夕の水やりや、草とりもしばらく、お休みです。しかし、どうやら百姓仕事もなぜか、性に合っていると見えて、作物の育成を楽しく思えるのも、近頃の感慨です。

ところで、住まいする鳥取県境港市といえば、「妖怪ロード」が全国的な知名度で、海鮮市場と並んで境港のシンボリック的存在になりました。

郷土出身の漫画家「水木しげる」氏の妖怪漫画「ゲゲゲの鬼太郎」など水木さん創作の妖怪が並ぶ町並みは、今や観光名所となり県外からも多くの、お客さんで賑わっています。



その町並みの一角で、知人が手作り土産品の店を開いており、最近から店の手伝いを始めました。

街おこしの一助にと、始めたものの手作



りでの商品づくりには、あらためて大変さを思い知らされました。わけても、手作りの難しさ、雑な仕上がりのイメージの払拭、そして、お客さんに喜んで手にしてもらえる商品の完成度。どれをとっても、未熟さを感じます。

それでも、自分なりに苦労した「商品」が、いい土産ができた、と喜んでいただいたときは、至福の瞬間で新たな意欲も湧いてきます。

いずれそのうち、社友の皆さんにもごりでの商品づくりには、あらためて大変さを思い知らされました。わけても、手作りの難しさ、雑な仕上がりのイメージの払拭、そして、お客さんに喜んで手にしてもらえる商品の完成度。どれをとっても、未熟さを感じます。

それでも、自分なりに苦労した「商品」が、いい土産ができた、と喜んでいただいたときは、至福の瞬間で新たな意欲も湧いてきます。

50年ぶりに、生まれた土地での生活に、ようやく慣れてはきましたが、これからも「元気が一番」をモットーに、楽しく暮らしたい、と思っています。



会社との懇談会

要望
社友会室の拡張
パソコンの設置
など

会社との懇談会は、さる十月二十日社友会の事務室で行われました。
会社から、石川副本部長と十月一日付で異動就任された庄野総務部長、中野総務部副参事に出席いただきました。



1999年上期の決算見こみ（この日までに、決算内容は対外発表されていない）と、下期の経営計画を説明される。

左 石川副本部長
右 庄野総務部長

懇談会は、石川副本部長から、今年度上期決算概要（見こみ）の説明と、下期計画案の説明からはじまりました。
十月一日付組織・人事異動の内容説明に続き、質問や意見交換を行い、併せて社友会からの要望をお願いして終わっています。
要望については、何れも予算措置や手続きの複雑な関連措置を伴うものが多く、実現にはなお、時間を要する見こみです。



説明に聞き入る社友会及び紅葉会の幹事会の皆さん

幹事会による配布物発送作業

遠隔地にお住まいの方々や、仕事や何らかの都合で、社友会室においてできない方には、郵送で配布物を送付しています。
例月、社内報「窓」の配布タイミングに合わせて数人の幹事に集めいただき、宛名貼り・袋詰など一連の作業を行います。
なお、在職中の業務との関連から、現在なお社外の発送先から送付される旧職場へのDMなどは必要なものは自宅宛てに、送付先変更の処置をお願いします。



例月行われる配布物郵送準備作業

社友短信

◆大久保 進也さん

雇用促進センターの行う職業訓練 マスターコース第十一期に参加中。
 会社勤務中にはなかった、午前七時には自宅を出る習慣が、この1月末まで続く。
 パソコン・ワープロ・商業簿記など資格取得を前提に、みっちり授業があるが、同年代ばかりで楽しい時間をすごしているようだ。

☆☆☆☆☆☆☆☆

◆田中 清介さん

今は何もしてないけど、九月まで六ヶ月ほど職業訓練を受けてた。住宅関連のサービスコースだけど、インテリアだとか内装補修だとか、カンナやノミなんかの使い方も習ったよ。そうそう、江頭さんも行ってた吉島の訓練学校んだけど、できればなんとか役立てたいね。

☆☆☆☆☆☆☆☆

◆津郷 和男さん

昨年の4月から仕事をしているそうです。なんでも中・四国一円をまたにかけて、今日は西、明日は東と忙しい毎日のようです。何やっているんです？ と聞いたら、安全衛生管理の指導とのこと。何の資格が要りますか、と重ねて聞くと、自分の場合は「衛生

服部正夫さん

(会員No.169)

逝く

(享年八〇才)



1997年3月撮影
 提供 廣田直昭さん (No.443)

服部正夫さんが、去る十二月一日亡くなられました。
 一九八五年五月、技術本部顧問を最後に退職されてからお会いする機会のないままの訃報でした。
 昭和四八年十一月から、昭和五八年三月まで広島に在任し多くの方々が、薫陶を受けられたと思います。
 ◆依然として根強いブランドイメージの壁に、新技術による新規分野の開発の陣頭に立って挑戦。
 ◆昭和五六年度(1982年3月)の決算では、はじめてオーデオの部門として事業本部の売上高が一〇〇〇億円を超え、従業員には自信を植え付け新たな意欲の醸成に大きく影響を与えました。
 ◆私的にはゴルフを好み、カメラを愛されました。
 謹んでご冥福をお祈りします

管理者」だが、ずいぶん昔取得したものが役に立っている、と話していました。

◆金子 占領さん

☆☆☆☆☆☆☆☆

退職直後に、腸を手術。3ヶ月入院したそうです。当時は、ひよっとしたらと、不安がよぎったそうですが、現在は取り戻した気持ちで、夕刻1時間太田川の川土手で、5kmのウォークを欠かさないそうです。
 また、冬季は休むが3月から、グラランドゴルフを再開するとの話でした。
 頑張ってください。(広報担当)

☆☆☆☆☆☆☆☆

編集後記

□やはり、年末は世の中並に多忙でした。
 □十一月の幹事会で準備に着手し、十二月のうちに新年号として配布する予定が、「窓」新年号と同時配布になってしまいました。
 □HOW DO YOU DOには、七月発足のパソコン同好会の近況を掲載予定でしたが、紙面の都合で、次号に変更しました。
 □秋の親睦旅行では、帰路の車中で感想をノートに記入いただきましたが、一部の方のみの掲載になりました。ご協力にお礼申し上げます。
 □次号は、4月に総会特集号として発行の予定です。テーマは問いません。自由課題で原稿をお待ちしています。